



2007年8月1日発行  
発行人：村尾 憲一郎  
発行所：〒650-0024 神戸市中央区  
海岸通8 神港ビルヂング 509  
TEL：078-393-0050  
FAX：078-393-0051  
E-Mail：[kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
URL：<http://www.kobekeio.org/>  
編集：堀 友子

～7月例会《サマーパーティ》～

福野 和博 (昭49経)

7月例会は7月21日(土)に恒例の「サマーパーティ」として、昨年の「北野クラブ SOLA」に引続き、開業50年を迎えリニューアルオープンした「北野クラブ」で開催されました。

梅雨空で蒸暑さは感じられましたが、幸い雨には降られず、開宴時間前には多くの参加者がテラスでウェルカムドリンクを楽しむことができました。

午後7時になり、今度はクラブホールに場所を移し、村尾幹事長の司会により開宴となりました。先ず広瀬会長のご挨拶があり、その中では7月17日(火)に参加された大阪慶應倶楽部創立77周年記念パーティにおける塾の創立150周年記念事業に関してのお話の紹介がありました。特に募金については目標250億円に対して既に179億円が集まり、来年11月の記念式典には目標を達成すべく更なる協力の依頼がなされたとのことでした。

次に例会初参加の早川会員並びに今春政治学科卒業の櫻井会員の自己紹介のあと、佐井副会長の「チンチン！」のご発声により乾杯となりました。

料理はフレンチ・イタリアンといったところで、各テーブルに分れて会話を弾ませながら数々の繊細

いものでしたので、リポーターもつついお代わりをしてしまいました。

さて十分に食事を楽しんだところで、いよいよ浦上会員ご夫妻司会による名物のオークションが始まりました。

最初に浦上会員ご自身の著書であり、“独立自尊”と署名入りの「勇気が生まれる 心のわすれもの」5冊が出品されすぐに落札されました。

その後も流れるような進行のもとに五代前会長作の風景画、お酒類、ゴルフボール、プロ野球観戦チケット、ポートピアホテル宿泊券、バカラ、エルメス品など多くの品々が次々と落札された結果、落札総額は256,100円となり倶楽部運営上の貴重な一部財源となりました。

最後に、阪本副会長の閉会の挨拶のあと、約50名の参加者全員の松尾幹事リードでの「若き血」の大合唱のうちに、今年のサマーパーティも無事散会となりました。

(当日の写真を倶楽部ルームに掲示しています。プリントご希望の方はお申し出ください。)



な味を堪能しました。またワインも独自の味わい深

 文ちゃんのなごみコーナー

『しゃぼん玉』 「心のわすれもの」より  
.....

石けんを削り、コップに溶かし、吹いてみました。  
ゆっくり、ゆっくり、ゆっくり、ふわり。  
大きい大きい玉が、ふわり、空に離れていきました。  
どこまでもどこまでも、  
青い青い大きな神戸の空です。

## 「ゼミの思い出」(三) 川田会のこと

浅沼 清之(昭36経)

二〇〇五年七月九日に、川田寿先生生誕百年記念パーティーが、卒業生で組織する「川田会」の企画として、盛大に実施されたが、先生の現役時代を支えた諸先輩やゼミ卒業生等、二百名程が先生の人柄を偲んで出席した。教え子である島田晴雄経済学部教授(当時の内閣府特命顧問)の記念講演や、式典に参加した五十代後半、六十代、七十代の卒業生に共通した想いは、川田先生の人間愛と学恩に対する感謝の気持ちであったと思うし、翌日実施した茨城県への墓参バス・ツアーへの多数の参加者からもその気持が窺える。

学生達の個性、人間性を尊重する先生の一貫した姿勢が、先生没後の川田会の先輩後輩の交流に生きていることを実感している。五百人を超える卒業生には、銀時計組から卒業単位すれすれ組、有名人から無名人、大金持から普通人まで多士済々であるが、交流に居心地の良さを感じるのは、平等と個性の尊重が共通しているからだと思われる。

川田会の運営は、機関紙や名簿の発行の他に、先生の命日に合せた総会の開催、OBゼミナーと種々の同好会、海外交流等を中心に、会員相互の研鑽、交流を図っている。これまで開催されたゼミナーを振り返ると、実施回数百数十回に及び、竹中平蔵さんや石原展晃さん等も過去の講師に名を連ねている。海外交流の第一回目は、一九九五年四月の、慶應ニューヨーク校訪問と、初代の二瓶校長(川田会OB)との交流であった。二瓶校長の案内で構内を見学し、桜の木銘板を川田会と

して贈呈した。校庭の美しい桜が印象に残っている。ニューヨーク川田会との交流は、市内の由緒ある「ユニバースティー・クラブ」で開催したが、和やかな歓談のひとつ時であった。ポストンやナイアガラに立ち寄り帰国した。二回目は、翌年一九九六年四月に、イタリアのコモ在住OBとの交流を兼ねて、北イタリア旅行を実施している。私は参加できなかったが、コモ、ミラノ、フィレンツェ、ベニス方面を訪ねている。三回目一九九八年八月の、南イタリア旅行には参加でき、ローマ、ナポリ、ボンペイ、パレルモ、アグリジエント等を巡る旅となった。四回目は二〇〇〇年八月に、イタリア北西部と南フランスを訪ねる旅に参加した。チェルビニアやアオスタ等に宿泊し、マッターホルンの展望や、ツール・ド・モンブランの一部をハイキングする山旅となった。後半は、ニース、マルセイユ、アルルなどの都会を巡る旅である。五回目二〇〇一年十二月にはニューヨークランド在住会員との交流を実施している。川田会会員が経営する南島クイーンズタウンにある、ミルブルック・カントリークラブのリゾートホテルに滞在し、ゴルフ等会員相互の交流、溪谷美で有名なミルフォード・サウンドやマウン・ト・クックに足を伸ばす企画であった。帰路、北島オークランドにも立ち寄り、現地在住の会員とも、久しぶりの対面であった。六回目は二〇〇三年八月に、南仏アルプスの山旅に参加した。モンブランを最北にニース方面に続く、フランスアルプスの山々、ヴァノアーズ、エクラン山群の山旅

である。この山群を結ぶ交通機関は無く、レンタカーしかない。左ハンドルのマニュアルに苦労したり、登山基地の山村にはシャワーしか無く、ニースのホテルに着いて、ほっとしたことが懐かしい。八回目二〇〇五年八月には、ヨーロッパ・アルプスの最高峰モンテローザを東・南東側から眺める為に、アラニーヤ・マクニャーガに滞在し、山歩きと展望を試みる企画に参加した。後半は、ミラノ、ジェノヴァ、ピサ、ポルトフィーノ等の都会巡りをして帰国している。同好会活動については、ゴルフ、スキー、山歩き等が活動の中心になっている。ゴルフについては、奥様名をカップに頂いての「定子杯」が定例化され、参加者は年々多くなっている。スキーは、年一回は海外スキー、もう一回は国内で定例化されている。私もお陰様で、ここ十年くらいの間に、ヨーロッパ、アメリカ、カナダのかなりのスキー場に行く機会に恵まれている。国内の山歩きは、川田会のワングルOBが、世話人の中心で、慶應ワングルの三国山荘での合宿が定着しつつある。ここに宿泊してみると、ワングルOB結末の本拠であることがよく分かった。

これ以外の活動としては、地方川田会の交歓も一つの課題となっており、現在は、関西と名古屋がOBゼミナーやゴルフで、年一回程度、在京会員とも交歓している。

川田先生ご夫妻の余徳の輪が広がり、卒業生の多彩な経歴を活かして、今後も有意義な交流の場であることを願っている。

(終わり)

# 会員だより

## 《カラダ、動かしていますか?》

徳丸 由里(昭55文)

最近、アメリカの軍隊式エクササイズ「ビリーズブートキャンプ」が話題を集めています。先日インストラクターのビリー隊長が来日し、マスコミを賑わせていたのは、記憶に新しいところです。けれども今どきのフィットネス界では、あのような激しいエクササイズは、もはやトレンドではありません。ビリーのようなムキムキの筋肉ではなく、「コア」とか「インナーマッスル」と言われる、内側の筋肉・中心の筋肉を鍛えることを目標とするようになってきているのです。

私のフィットネス歴は10年以上になります。当初はエアロビクスやジャズダンスが全盛の頃で、それこそビリーズブートキャンプのようにクタクタになるまで大汗をかき、午後は使いものにならずお昼寝、といった状態でした。けれども、汗をかいた後の爽快感は何とも心地良く、以来すっかりハマってしまいました。1年も続けるうちに、いつの間にか慢性の胃痛や腰痛に悩まされることもなくなり、運動の大切さを思い知るようになります。さきほども書きましたように、ここ2~3年はエアロビのような激しいエクササイズは次第に影をひそめ、ゆっくりとした穏やかな動きを繰り返すことによって、じんわり汗をかいて内側の筋肉を鍛える「ピラティス」や「ルーシーダットン」などが主流となってきています。楽にできる反面、少々物足りず、1年ほど前からは新たに「トランポビクス」と「バランスボール」の教室にも通い始めました。トランポビクスとは、1人用の円形のトランポリンを使ってのエアロビです。まずウォーキング、そしてジャンピング、ランニングと練習し、音楽にあわせた振りがつきます。兵庫県では、神戸女学院を本部とした組織ができており、先日の国体の開会式や神戸まつりに参加したグループもあります。私も先日テレビ出演を果たしました。

(ほんの数秒ですが・・・) この競技は「死ぬまで自分の足で歩く」ということを目標としており、園児から70代までの幅広い競技人口を有します。私の教室でも20代から50代までの女性が練習していますが、意外にも若い子より中年のオバさん達の方が、気力・体力ともに充実しているようです。(乗り越えてきた修羅場の数の差でしょうか・・・)

バランスボールの方は、テレビなどでもお馴染

みの、座ったり弾んだりする大きなボールと、バレーボールほどの小さなボールを組み合わせを使っていくエクササイズで、身体の歪みをなくしバランスを整えることを目的としています。この競技はまだまだ初心者で、今後さらに練習していかなくてはなりません。

これから年を重ねていっても、ことフィットネスに関しては、守りに入らず、攻めて攻めて(?) いきたいと思う今日この頃です。

## 《第16回東西4大学OB合唱連盟演奏会》

広瀬 努

1977年に東京で開催されてから30年を迎え、関西学院、同志社、早稲田、慶應の4大学の男声合唱団OBが全国各地から350余名が集まる演奏会が、7月29日神戸国際会館のホールで開催されました。会場が満員になる盛況ぶりに驚きました。4大学の校歌にはじまりそれぞれ各大学の個性あふれる演奏があり、慶應義塾ワグネル・ソサイエティーOBも100名を越し、同志社に次ぐ人数で「富士山」を熱唱し、練習された成果を十分発揮され、最後に4大学合同演奏も本当に迫力があり盛大ですばらしい会でした。

演奏後ホテルでレセプションが開催され、昨年神戸を訪れた現役も数名参加していて楽しい交流の会でした。ワグネル関西三田会の森田会長、西山さん本当にご苦労さまでした。

# 同好会だより

## イーゼル会

### 《感謝、感謝のグループ展》

7月5日~10日の6日間、三宮本通りにある「ギャラリーほりかわ」で第二回グループ展を開催した。設立当初から「和気藹々」と「のんびり」をモットーに絵を描くこと自体を楽しむメンバーが多いので展覧会開催の意欲醸成にも時間を要し、気がつけば第一回から4年が経っていた。各自3



梅地先生の講評を聞くメンバー

点の出品作も作者自身のお気に入りです。それぞれに思い入れがある作品が多く並ぶこととな



った。画廊主の友人の方が(このグループ展は)「作品はうまいとか下手とかいうのではなく腰の据わった作品が多い」と評されたが言い得て妙ではないだろうか。

「ギャラリーほりかわ」は場所も良く、買い物・食事のついでに立ち寄りやすいこともあったのか連日多くの方々に来場頂き、応対当番者はてんでこ舞いにうれしい悲鳴を上げさせて頂いた。来場者は最終的に 350 名近くを数えることになり、出展作の引き揚げ作業中もメンバーの興奮状態はさめやらず、「次回は 2 年後の秋にやろう」「静物だけでなくもっと人物を描こう」「写生会以外でも外で描く機会を増やそう」等々意見が続出、今後の例会がますます賑やかになりそうな雰囲気グループ展を終えることが出来た。

たくさんの方々にご来場頂きあらためて感謝の意を表し、また厚く御礼申し上げます。

グループ展を終え、次は 2 年後を目標に新たなスタートを切りますが絵を描くこと自体を楽しみたい方、是非一緒に絵を描いてみませんか。

イーゼル会世話人：八巻 晤郎

(誌上展覧会として別紙で特集しています。)

## 囲碁同好会

7月6日(金) 通常例会 初めて1時より開始したところ13名の多数参加で賑やかな会合となる。夕方まで自由対局。

6時より水戸夕香里3段女流プロとの3面打ち指導碁。偶々、同プロはテレビ大阪の関西女流囲碁トーナメントでベスト8まで勝ち上がっており、対局前に食事をしながらその勝ち碁の話聞かせていただく。極めてご機嫌なり。皆も「勝負事はやはり勝たねば」と勇んで立ち向かっていったが・・・

第一陣 浅沼 安永 増井 各氏

浅沼 健闘するも少しづつハンデが消えていき、最後は地が足らずジリ負け

安永 相手の石を狙い過ぎて、逆に大石を取られ中押し負け

増井 強気か慎重か中途半端で結局封鎖作戦にはまり中押し負け

第二陣 林 金刺 平田 各氏

林 相手の石を切りまくる攻めも空回りでプロには通用せず

金刺 なかなか見所多く、ギャラリーを沸かせたが最後はプロの底力を出されて惜敗

平田 攻守のバランスが良く地合いを守り通し勝ち切る。

置石の数(ハンデ)は各人様々であるが、結局1勝5敗の成績であった。

過去の実績からすると1勝あげれば一応健闘と言えよう。

いつもの通り終局後、敗因を優しく教えていただく。同時にイイ所も少し指摘・・・ここが大事。勝てた人はにっこり、負けた人はいつか勝てるだろうと思いつつ散会。

楽観主義者でないと勝負事は出来ません。ハイ。

世話人：菊田 義正(昭42商)

## KKJC

### ♪KKJC 納涼ジャズパーティ♪(懐メロ大会)

川口 裕(昭38法)

7月22日(日)梅雨明け直前の、まだすっきりしないけど、雨は避けてくれた夕刻にJR芦屋駅に程近い「げんぶ堂芦屋店」の2階に、続々と人品卑しからぬ(?)人々が集まり始めました。もちろんお目当ては、「KKJC 納涼ジャズパーティ」です。芦屋の国道2号線に面した(蕎麦&甘味処)の2階に、ジャズライブができるスペースがあるのも知りませんでした。わがKKJCのメンバーたちは、本当に妙なもの、ところ、ひとを知っていますよね。(失礼!)

さて、そのライブスペースは、定刻の18:30には、当日の参加人数43名がぴったりおさまり、いよいよ開会を待つばかりのところに、なんと塾の大先輩で関西ジャズ界の大御所・鍋島直和さんが飛び入り参加されるという大ハプニング。(ラッキー!)

KKJC 世話人の近藤 正さんより開会の挨拶があった後は、まずディナータイム。お食事は、例によって淡路屋さんの豪華弁当。飲み物はビールのほかに、沢山の差し入れがあって、なんでもありの飲み放題。(嬉しい!)

さて、食事も終わって、演奏メンバーの一人でもあ



る一宮弘忠さんの軽妙なる司会で、いよいよ演奏開始となりました。

なんと、そのファーストステージに、大御所・鍋島直和さん(Vib)が華内 玲ピアノトリオをバックに登場。華麗な演奏で楽しませていただきましたが、「最初にプロがやっちゃって、後がやりにくくないの?」の声がしきり。そんな心配を吹き飛ばす熱演を、わがKKJCメンバーからなる「ルート66」グループがやってくれました。昨年年末の1回目の演奏会から比べると、長足の進歩の声がしきり。(よかったね!)

それでは、「ルート 66」のメンバーを紹介しておきましょう。一宮弘忠 (Tp)、長田庄太郎 (Tp)、垣屋高文 (Ss)、吉田 碩 (As)、宮本節夫 (Cl)、中西直行 (Vib) の面々です。

この日は、各人がソロプレイを披露するなど、とても意欲的で、次回を大いに期待させる内容でした。

ところで、この日初めてグループ名「ルート 66」の謂れが披露されました。それは、6 人のメンバー全員が、昭和 39 年卒業で、現在 66 歳ということ、また、練習会場の宮本邸が六麓荘だったから、とのことです。(来年になったら「ルート 67」になるの?)

このあと、宮本美代子さん(宮本節夫夫人)、團 裕子さんのヴォーカルも加わって、ますます華やいだ雰囲気です。

このほかゲストによる飛び入りのヴォーカルもありましたが、特筆ものは、鍋島さんがヴォーカルを披露されたことでしょうか。小生も、初めて聴かせていただきました。昨年、傘寿のお祝いがあった鍋島さんのお元気づりには、いつも圧倒されますが、この日は、塾の後輩に囲まれて、とりわけご機嫌で、楽しまれていたようで、私たちも幸せな気分になりました。

もう一つのスペシャルは、このような催しに欠かされていない、浅沼さんご夫妻のタンゴステップです。この日もカミニートの曲に合わせて華麗かつ軽やかに披露いただきました。



あっという間に 3 時間が経過、最後に全員で “You Are My Sunshine” を合唱してお開きとなりました。こんな楽しい催しができるのは、KKJC しかありませんよね。音楽は、なんといってもライブが一番。とりわけジャズは、みんなで一緒に楽しめるライブが最高。次回が楽しみです。

ライブメンバーは、しっかり練習しておいてね!

## 会員の輪

### 《自己紹介》

塩谷 章 (昭 36 商)

6 月に入会させて頂いた塩谷です。5 月に終の住居を神戸住吉に移したことで、当倶楽部に入会させて

頂きました。

6 月の例会でも自己紹介させて頂きましたが、御出席されなかった方も居られるので、再度簡単に自己紹介させて下さい。

卒業は昭和 36 年の商学部 1 期生です。生まれは北海道 札幌ですが、父の勤務の関係で転々とし、神戸は今回で 3 度目です。終戦直後に西灘の上筒井小学校の 2 年に在学したこともあります。

ゼミは森五郎ゼミ、クラブは経済新人会百貨店研究部に所属しましたが、どちらかと云えば、日吉、三田の雀荘に通っていたと云うのが正直なところです。

卒業後は住友電工に入社し、役員を経て住友電設に移り、6 月の総会で古希を迎えたのを機に、会長を退任し、特別顧問となりました。

これまでは会社中心の生活でしたが、これからは個人生活を充実させたいと思っていますので、宜しくお願いします。

趣味は余り高尚なものは無く、お酒、ゴルフ、麻雀、モダンジャズ鑑賞位です。ジャズは 60 年代のマイルス・デービス、コルトレーン時代の CD を懐古趣味的に聴いていますが、個人的にはソニーローリンズ、バッドパウエル、MJQ のミルトジャクソン等が好みです。ライブも東京時代は六本木のバートランドやサテンドール等に出入りしていましたが、神戸もライヴハウスが沢山あるそうなので大変楽しみにしています。是非色々教えて下さい。

麻雀はかなり腕に自信を持っています(最近の戦績をみると過信かもしれませんが)が、だんだん面子不足になってきているので、機会があれば誘って下さい。

ゴルフは千葉の鷹の台で HDCP10 までいきましたが、つるべ落としの様になり、現在宝塚で 21 になりましたが、70 才を機にもうひと踏張りし、HDCP を上げたいと思っていますので、こちらの方も宜しくお願いします。

アルコールは何でも好きですが、年齢とともに美味しい日本酒を美味しい料理で頂くのが良くなりました。良いお店を是非御紹介願います。

以上取り留めの無い紹介になりましたが、新しい趣味も模索して居りますので、今後とも長いお付き合いを宜しくお願い致します。



～～秋の慶早ゴルフのご案内～～

日時：9月5日(水) 10時集合 10:30スタート

場所：神戸ゴルフ倶楽部 (六甲山上)

TEL (078) 891-0364

会費：8,000円(懇親会・賞品代)

プレー費、昼食代等は各自で支払い。

コンペ終了後ロッジにて松茸すき焼きパーティ

締切：8月16日(木) 3時まで

事務局にお申込ください。

◎ 8月例会は休会になります。

～～9月例会のお知らせ～～

日時：9月20日(木) 18:30から

場所：倶楽部ルーム

会費：3,000円

～～今後の行事予定～～

10月14日(日) 連合三田会 日吉

10月25日(木) 10月例会 倶楽部ルーム

11月18日(日) 関西合同三田会 和歌山

12月8日(土) 家族例会 神戸ポートピアホテル

○ 詳細については、BRB・メールマガジン等でお知らせしますので、毎月ご確認ください。

○ 同好会の日程については、各世話人にお問い合わせください。

～～事務局よりお願い～～

◎ 例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、当日のキャンセルにつきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。

◎ 住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

BRB9月号は勝手ながら休刊させていただきます。

**編集後記**

○ 家族例会の恒例「お楽しみオークション」は浦上ご夫妻の大奮闘で、今回も大勢の方にご協力していただきました。さすが、会員諸兄弟がいかに塾を愛しているかという証でしょう。  
(文ちゃん曰く……)

○ ひと月遅れの夏がやって来て、また「暑い、暑い」の連発。これで暑さが解消できれば……そうはいきませぬよね。

○ 創刊以来初めて一回お休みさせていただきました。十月号でまたお会いしましょう。  
(ほ)